

館報

どうする  
公民館



5月号

No. 805

令和5年  
(2023年)

# やまがた



## 村内事業者の“縁の下の力持ち” こばやし かずや 小林 和也さん

4月より山形村商工会の事務局長に着任された小林さん。実は4年前、経営支援員として従事しており、ご存知の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

今年度から観光協会が商工会から村役場に管轄が変わったことや、ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった商工会活動も復活できそう、事業者を支援しやすい環境は戻りつつあるとのことでした。

「引き続き、村内事業者の経営支援に尽力していきます。よろしくお願いいたします」と力強く話してくれました。

(5月1日 山形村商工会館にて)

働姿

# 告知板

## B&G 海洋センター

### 6月17日(土) 営業スタート!

\*\*\*\*\*  
 開館スケジュールは、館報5月号と同時に配布される『学びの情報』及び村公式ホームページに掲載されていますので、ご覧ください。  
 \*\*\*\*\*

#### 《使用料》

- ◎大人 (高校生以上) 250円
- ◎小人 (中学生以下) 無料
- ※幼児 (3歳以下) は、保護者と一緒に遊泳するようにしてください。
- ※小学校3年生以下の方は、保護者の付き添いが必要です。(付き添い者は無料)

お問い合わせ  
 山形村教育委員会 ☎0263-98-3155

### やまのこまつり係会始動!

6月18日(日)に開催予定の『やまのこまつり』に向け、やまのこ保育園で準備が進められています。4月20日(木)には、保護者と職員で構成されるやまのこまつりの係会が行われました。

昨年までコロナ禍のため園外からの集客がほぼできまじんでしたが、今年からは少しずつ従来の規模に戻していく模様です。

係長の宮沢由衣さん(小坂)は「安心安全にこだわった食品を扱うお店、心温まるハン

ドメイド作家さんの集まるマルシェやバザーなどたくさんのお楽しみをご用意しています。皆さまのご来園をお待ちしています」と話していました。



### 山形小学校 授業参観

4月21日(金)、山形小学校で今年度初めての授業参観・PTA総会・学級PTAが行われました。授業参観では保護者参加型の授業を行ったクラスもあり、親子で楽しそうに学んでいました。また、1年生は初めての授業参観で保護者が見守る中、張り切っている姿が印象的でした。



### みどりの少年団

4月24日(月)、山形小学校で、みどりの少年団育成協議会総会が開催されました。会長の大池昌弘校長から今年度の活動計画が発表された中で、4学年を中心とした学校の整備、学級・学年での花壇や畑の管理が主な活動となるようです。また、花園委員会では昨年の花壇コンクール受賞の



PTA総会は3年ぶりの対面開催で、『広げよう笑顔の輪を』をテーマに各部の活動が発表され、新年度のPTA活動が始まりました。学級PTAでは保護者の自己紹介や担任からクラスの様子や学習指導方針などの話し合いが行われました。保護者や先生方にとって、今年度スタートに相応しい充実した1日になったのではないのでしょうか。

成果を更に上回る活動ができるよう準備を進めているようです。

この活動を通じて、学校や地域の美化や緑化に大きく関心を持って人に成長してもらいたいと思ってきました。



## 山すそ

例年より早い春の訪れ、2週間近くも桜が咲いた。いつもと違うと「異変が起きるのでは」と危惧するのが天変地異に遭って来た祖先からの贈りものか▼田畑では田植え、作付けの最中である。小坂原・竹田原をクルマで走ると、スイカ・長芋・ネギと農作業が気候に追われているのがわかる。「昭和ヒトケタが現役だった頃と比べて」仕事をしている人が少ない、荒れた畑が増えたねえ。スイートコーンが増えた気がする」と同乗する母の独り言が聞こえる▼ゴールデンウィークに出かけると能登半島珠洲市の地震速報が入り、11日には、房総半島木更津・君津でM(マグニチュード)5を超える地震が発生している。そうだった、忘れてはいけなかった。日本は地震多発期に入っていること。我が村はフォッサマグナの西辺・糸魚川静岡構造線にあること。もしもに備えての食糧備蓄を。

今月の声

副館長就任にあたり



中村 よしみ(上大池)

コロナ禍で、でき... 取り組んできました。5月8日で新型コロナウイルス5類に分類され、期待と不安が入り乱れます。役員のなり手がなく、高齢化もあり、地域のつながりも希薄になってきているように思います。ぜひ、公民館活動や地域の活動にご参加いただき、地域の人たちを巻き込んで毎日の生活に潤いと豊かさを感じられるよう共に目指しましょう。よろしくお願ひします。



いさお 中村 功(小坂)

今年度より2年間、副館長を務めさせていただきます。小坂区の中村功です。分館では本館体育部員、体育部長、副分館長を経験でき、当時は本館への意見など多く持つて活動していたことを思い出します。また、最近では、新型コロナウイルス感染症の影響で、行事への参加意欲の低下などよく耳にしています。分館での思っていたこと、最近よく耳にする意見を、この2年間の公民館活動に取り入れて、参加しやすい公民館となるよう館長はじめ、関係者と協議し進めていきます。本館のイベント、『夏祭り山形じゃんざら』・『村民運動会』・『総合文化祭』は、村民が交流できる場であり、村の発展のため必要なものと考えますので、ぜひコロナ禍前の水準に戻せるよう、形は変わっても継続実施できるように計画しますので、ご協力よろしくお願ひいたします。

鉢盛中学校 標準服を導入

今年度から鉢盛中学校に導入された「標準服」とは何だろうか？というところで、中川満英校長に経緯を伺いました。

はじめに、この4月から1年生を中心に導入された標準服は、男女兼用の紺のブレザーに、共通柄のスラックスやスカートに自由に組み合わせさせて使える服装です。



鉢盛中学校では昭和40(1965)年の開校以来57年余、男子が黒の詰襟学生服、女子が紺のブレザーにスカート、またはスラックスを伝統的に着用してきましたが、生徒や保護者の多様な考えを反映して、昨年4月から1年間の検討会議を重ね、一人一人の考えに沿って多様な着方ができる服装として導

入が決定されました。

コロナ禍で、生徒たちは運動服で生活することを余儀なくされたこともあり、標準服では家で毎日洗濯できること、伸縮性など着心地が良いことも重視されています。

なお、標準服導入後も、今までの制服を併用し、標準服に準ずる市販品の制服着用も可能となりました。多様性を尊重し、ネクタイ、リボン、スラックス、スカートを選択可能なほか、ブレザーのボタンはワンタッチで付け替えてできるため、前合わせを左前でも右前でも着用できます。

印象的なネクタイとリボンの青、白、赤の3色は学校を支える3市村をイメージし、青は「清純」地域で大切にされている鎖川の清流を、白は「輝く」北アルプスに積もる雪赤は「明るい学校」朝の光を表現しています。これは生徒提案によるもので、標準服には随所に生徒のアイデアが盛り込まれています。

今回の導入には生活委員会を中心とした生徒会が主体となり、保護者や生徒へのアンケートを重ねました。保護者や生徒でつくる制服検討

委員会<sup>※</sup>では、生徒が活動できる日中、なおかつ、非常に多くの会議に時間を合わせてご参加いただきました保護者の皆さまに、心より御礼申し上げます。検討期間から今日までを振り返ると、生徒の主体性が高まってきているように感じます。今後も生徒たちの意見を取り入れ、現代に合わせた生活の決まりの見直しをしていきたいと考えています」と、中川校長。

自分たちで考えて行動することは自立心の成長に他なりません。標準服の議論がきっかけで生徒の主体性が高まり、より良い学生生活を自分たちで考えて作っていく、取材を通して、そんな鉢盛中学校の変化が伝統になっていくと素晴らしいと感じました。 ※制服検討委員会構成 (PTA役員、PTA会員(希望者)、生徒代表、職員)

お詫びと訂正

館報4月号号人事特集「人の動き」内で一部未掲載がありました。

・鉢盛中学校PTA

(山形村関係分)

※敬称略

幹事 塚田 有紀子

関係者の皆さま及び読者の皆さまに深くお詫び申し上げます、訂正いたします。

# 想いを語る

※各分館の写真は以前(昨年度のものを含む)のものです

今年4月から新たな体制で各分館の活動が始まりました。新型コロナウイルス感染症が5類になったとしても、影響はいまだ残っており、春に予定していたスポーツ大会は全6分館ともに中止が決定されました。

難しい舵取りが求められる時代ではありますが、『できることからはじめよう』と、今後2年間分館活動をリードしていく新分館長6名に想いを語っていただきました。

## 上大池分館

ホモ・サピエンスに照らし合わせて

上大池分館長 相澤 浩（ほし）

今年度から分館長という重責を担うことになりました相澤です。小生などに分館員の方々が満足される活動ができるのか不安は多々ありますが、副分館長、会計他役員の方々のご協力を得ながら取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

時代の流れなのか、分館の活動自体を疑問視する声が聞かれることがあります。『ホモ・サピエンスの秘密』で知りましたが、今から40万年前頃にネアンデルタール人が生まれ、20万年前頃にホモ・サピエンスが生まれたものの、生き残っているのはホモ・サピエンスただ一種のみです。ホモ・サピエンスは言葉に富み、「アー！」とか「ウー！」の音声だけではなく、言葉で猟犬を操り、弓矢や投槍で獲物を遠くから攻め、集団で獲物を追い詰める戦術も編み出していました。脳みそはネアンデルタール人のほうが大きかったそうですが、感情を司る『前頭葉』はホモ・サピエンスのほうが発達していて、ネットワーク型の流動的知性に優れていたそうです。このように私たちの祖先であるホモ・サピエンスは高い協力態勢があったからこそ生き延びることができたこととです。次世代の人たちも未来永劫この上大池の地で暮らせるよう、ワイワイガヤガヤ楽しく交流が深められる分館にしていきたいと思しますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。



お元気会 (上大池分館提供)

## 中大池分館

引き続き  
よろしくお願いたします

中大池分館長 上條 浩明（ひろあき）

2期目の分館長を務めさせていたただくことになりました。



マレットゴルフ大会 (2022年5月号より転載)

分館役員・部員の皆さま、区民の皆さまの協力をいただきながら、分館活動に取り組んで参ります。昨年分館としては、5月にマレットゴルフ大会、2月に区民ふれあい会を開催しました。コロナ感染対策を図りながらも、誰もが参加できることを念頭に実施し、結果幅広い年齢の方々に参加いただくことができました。

今後は、制約を受けていた行事の再開などを検討していくことになりまます。その際には、地域のコミュニケーションの場として重要な分館活動を継続していく一方で、これを機に今の時代に合った活動に見直していくことも必要だと思っております。引き続き感染防止を第一としつつ、誰もが気軽に参加できる分館事業を考えていきたいと思ひます。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いたします。

## 小坂分館

まずは一歩ずつ

小坂分館長 稲田 豊（ゆたか）

「しばらくぶりだね。元気にしてた？」などと話ができる冬のスポーツ大会があり、「あの人うまいね、どこの誰？」なんて新しい発見や出会いがある春のスポーツ大会があったりして、公民館の活動や行事・慰労会をきっかけにした地域の知り合いが多くできたことを私は嬉しく思っています。

いまはコロナ禍もありますが、公民館自体の活動は曲がり角にあり、これまでのような慣例行事を継続していくことが難しい状況にあると感じています。どのような行事を企画運営していくかは決まっておりますが、幸いなことに分館の役員や部員は何かやりそうな前向きな人たちが集まってくれています。地域の人と人が交わる楽しい機会を提供できるように分館のメンバーで考え、行動していきたいと思ひます。「小坂区民の皆さま、2年間は小坂分館のリハビリです。ただど頑張りまます。あたたかく見守ってください」ご協力よろしくお願いたします。



モルック大会優勝 (2022年10月号より転載)



# 令和5・6年度 新分館長就任の想

## 下大池分館

”いろいろな人がいる。

それこそが強さ”

下大池分館長 山川 晋しん

令和5・

6年度の分館長を務めることになりました。

私自身は公民館活動について経験も知識もありませんが、心強い



健康活動講座（2023年3月号より転載）

ことに新役員は皆元氣一杯です。当面は、コロナ禍のもとで薄れがちな地区の一体感・ご近所感を取り戻すことから始めていこうと話し合っています。未だ感染の再拡大にご懸念をお持ちの方々も多いため、春の常会対抗と区民の集いは中止となりましたが、状況を見極めつつ、秋の区民の集いなどを皮切りとして、区民の皆さまが気軽に参加できる分館事業を現在考案中です。また、公民館を利用した集いやイベントの企画について、皆さまの声をお聞きしたいと考えています。村役場・教委・社協・様々な達人や文化団体のご協力をいただきつつ、公民館が区民の心の拠り所、区民コミュニティの要と思っただけできるよう、役員全員で精一杯活動してまいります。

## 上竹田分館

周りの方とお知り合い

上竹田分館長 宮沢 栄さか

この度分館長を務めることになりました宮沢です。

今までに分館行事に参加して、今も思い出に残っていることがあります。小学生の時バスハイクで、初めて潮干狩りに行き砂浜からアサリを取り出した時の感動を思い出します。また、村民運動会の選手として出場したムカデ競争の途中で転倒し良い結果ではなかったのですが、転倒時の話で盛り上がったことを思い出します。

さて、この3年間コロナ禍で多くの行事が中止となり、周りの方と出会う機会も世間話をする機会も無くなってきています。分館行事を通じて多くの方々と知り合いになって頂き、世間話や地域の課題など話し合える関係が作り出せればと思います。

私たちが分館三役、レク部正副役員その他全部員で、今できる分館活動を計画し実施していきたいと考えています。

ぜひ、分館行事に参加して頂くため、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。



上竹田地域清掃（2021年8月号より転載）

## 下竹田分館

公民館活動の正念場

下竹田分館長 直井 雅尚まさ

令和5・6年度の分館長を務めることになりました。

土屋副分館長、田中会計、高橋社会部長、上條体育部長、そして各部員の皆さんと活動に取り組んでいきます。よろしくお願ひします。

私はここ20年、分館活動から離れていて近年の動向を知らずにいました。年度初めの顔合わせでびっくり。部員選出不能の連絡班がいくつもあるのです。コロナ禍の3年間の活動制限、連絡班の高齢化、地域コミュニティへの意識の変化などが原因でしようか。たしかに公民館活動は不要不急に見えるかもしれません。しかし人口減少社会を迎え、防災、子どもや高齢者の見守り、介護などには地域内の人のつながりが一層重要になるでしょう。公民館活動がそのきっかけになれば素晴らしいことです。区民の皆さまが参加したいと思ふような企画で、地域での学びとふれあいの機会づくりを進めていきたいと思ひます。ご協力をお願いいたします。



社会部ふれあい活動（2020年2月号より転載）

# どうして？ 公民館

4月22日(土)、トレーニングセンターふるさと大ホールにて、分館長・分館役員を対象とした長野県生涯学習推進センター主催の公民館研修会が行われました。講師は松本市在住、公民館支援専門員の中田安子さんが務め、実体験を交えながら分館公民館の役割を解説、共有する講演となりました。

山形村でも顕著になってきている役員の担い手不足に、昨今のコロナ禍による公民館活動の停止も追い打ちとなり、まさに今、公民館の在り方を考える時期になってきていると思います。本講座の出席率も高く、分館長・役員の皆さんも漠然とした不安感を共有されていると感じました。村民の皆さま

まにも本記事が公民館の役割を考えていただく機会になればと思います。



はじめに理解を深めるため、公民館のあらましを紹介します。

**公民館の目的**

第二次世界大戦後、日本に最も大切なことは国民が文化的教養を身につけ、他人に頼らず自主的に物を考え平和的・協力的に行動する習性を養うことでした。そして、新しい民主日本に生まれ変わるには教育の普及が何よりも必要で、公民館はその役割を担いました。

## 公民館の誕生

昭和21年(1946年)7月『寺中構想』と呼ばれる考え方に基づき、文部次官通牒『公民館の設置運営について』が全国に通知されました。ここから公民館の歴史が始まります。

- 公民館の機能**『公民館の建設』(寺中作雄著)より
1. 公民館は社会教育機関である。
  2. 公民館は社会娯楽機関である。
  3. 公民館は町村自治振興の機関である。
  4. 公民館は産業振興の機関である。
  5. 公民館は新しい時代に処すべき青年の養成に最も関心を持つ機関である。

要するに、社会教育、社交娯楽、自治振興、産業振興、青年養成の総合的な目的を持つ地域の中核機関として公民館は誕生しました。

## 長野県の公民館

日本で最初に誕生した公民館は、木曾郡南木曾町の妻籠公民館です。全国の公民館数を調べると、埼玉県が490館で全国2位、長野県は1789館で全国1位の規模を誇り、さらに自治公民館も含めると3800館以上があるそうです。この圧倒的な数からも分かるように長野県は公民館活動が盛んで、教育県と呼ばれる所以にもなっています。

## 今後の公民館

公民館行事は強制ではありませんが、地域のために『行事に参加しないといけない』という義務のような状況となり、強い負担を感じていた人も存在していると思います。しかし、時代経過とコロナ禍を経て、状況は何かが変わってきました。

高齢化に伴い担い手が減り、持続不可能な状況に陥った場合など理由はさまざま考えられますが、すでに公民館を辞める(抜ける)という状況も生まれてきています。今後そのような流れが議論されると考えられますが、そんな時はメリットだけでなくデメリットの方も考えることは重要だと思います。例えば子どもの交流や学び・スポーツ、地域文化の学び、生涯学習など、文化的活動の多くは公民館が担っているのは意外と認知されていないように感じます。『公民館は娯楽機関である』と寺中氏が構想したように、自主的に参加したいと思えるイベントは小規模であっても有用だと思います。例えば松本市島立では公民館居酒屋を定期的に開催しているとのこと、自主参加が促される、肩肘を張らない楽しみ場にしていくことはひとつのヒントかもしれません。

公民館にはいろんな目的があると紹介しましたが、一貫しているのは地域の方が交流できる場所であることだと思います。公民館は生活に何をもちたらず存在であるか、各地区で話し合いが持たれることを期待します。

ご意見・ご感想をお寄せください。QRコードからよろしくお願いします。



## 有害鳥獣駆除出陣式

5月7日(日)の早朝、松塩筑獵友会山形支部のハンターが召集され、駆除活動の任命書が手渡されました。駆除活動は、9月末までの実施を予定しています。

来賓にJ A理事の青柳寛さん(中大池)、駐在所の上原昌幸さんが列席され、獵友会山形支部長の青山芳正さん(中大池)からは「矢先(銃口)の確認を徹底していただき、駆除のほう宜しくお願いします」と挨拶がありました。里山や農用地を守る獵友会の皆さんに、今年も感謝申し上げます。



## おめでた字・趣風



柏木 梨緒 健吾 小坂

箕町 和華 美帆 下大池

横水 優那 大盛 下竹田

小林 くに子 79歳 小坂

唐澤 節夫 85歳 上竹田

唐沢 福子 88歳 小坂

上條 清子 87歳 下竹田

おみやみ

# 春の例大祭特集2023

境内に響く子どもたちの賑やかな笑い声。  
今年は、ついに夜店が出店したところもありいつものお祭りが戻ってきました。

## 八十八夜(清水寺)



## 大日堂



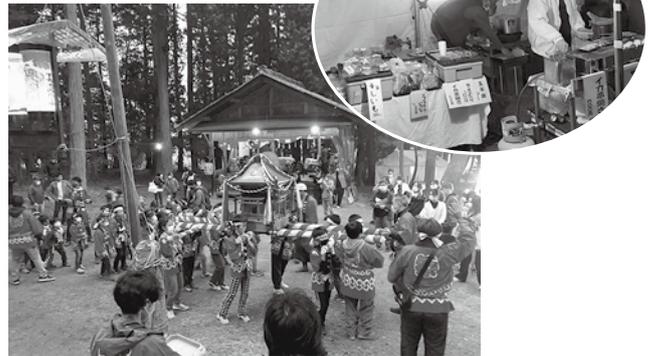
## 穴観音



## 水神様(建部神社)



## 八幡神社



## みんなの人権 100

「子どもは けんかはするけどせんそうはしない」

～まずは半径5メートル内の人権課題を見返すことから始める“コロナ後”～

この頃です。  
我がコミュニティの再構築も、まずは足元にある人権課題を「子どもとともに」ずくを出して変革していくことからかと思案する  
(令和5年5月 M. H. 記)

しい段階に入ったことを実感するこの頃です。そんな折、今月(5月)中旬に広島でG7サミットが、また先月には軽井沢でG7外相会合が開かれました。会議の様子を聞きながら、昨年度の未だ来塾で中学生たちが、学習支援の大学生らと『戦争と平和』について語り合っている場面を思い出しました。3年生は、英語教科書に載っている「A Mother's Lullaby」やオバマ元アメリカ大統領の演説を読んだ後『平和運動家ガンジーの伝記』を学んでいました。そして、2年生は、学校から課された『平和について』の作文に四苦八苦しながら、自分たちに何ができるのかと議論していました。谷川俊太郎の『子どもと子どもはせんそうしないけんかはするけどせんそうはしない せんそうするのはおとなとおとな』(絵本 せんそうしない)の一節を思いながら、「この子たちの純真な気持ちに答えるには」と自問するひとときでした。戦争もコロナ禍も自然災害も、瞬間に世界中を巡り巡って物価の高騰や失業・飢餓など私たちの日常生活やいのちを脅かす現代社会。そんな中、子ども食堂をはじめとして村のあちこちで地道に取り組まれている貧困、格差、差別を無くす取り組み。「半径5メートル内で起きている生活課題を解消しようとする小さな営みを、自助も共助も公助も混ざり合ってマクロの取組みにしていこう。コミュニティづくり。それこそ、飢餓や戦争を回避し安全・安心の平和な社会を創ることに繋がる」とはブレイディみかこ『THIS IS JAPAN』(新潮社)から教わったこと。『飛ぶ教室』で有名なE.ケストナーは、今から75年も前に、いつまで経っても戦争や貧困を無くせない人間たちに警告を発して、絵本『どうぶつ会議』を著わしました。「戦争や貧困どうしてなくなるのか?もう人間どもには任せておけない」と業を煮やした動物たちが、世界中から大集合して「どうぶつ会議」を開き、人間どもにその愚かさを気付かせます。合い言葉はただ一つ「子どものために!」。コロナ後の我がコミュニティの再構築も、まずは足元にある人権課題を「子どもとともに」ずくを出して変革していくことからかと思案するこの頃です。

## 優ゆるの風景 51

◇新学期も始まって2か月。山形っ子タイムで出会う小学生たちともようやくマスクなしで対面できようになり、コロナ対応も新しい段階に入ったことを実感するこの頃です。そんな折、今月(5月)中旬に広島でG7サミットが、また先月には軽井沢でG7外相会合が開かれました。会議の様子を聞きながら、昨年度の未だ来塾で中学生たちが、学習支援の大学生らと『戦争と平和』について語り合っている場面を思い出しました。3年生は、英語教科書に載っている「A Mother's Lullaby」やオバマ元アメリカ大統領の演説を読んだ後『平和運動家ガンジーの伝記』を学んでいました。そして、2年生は、学校から課された『平和について』の作文に四苦八苦しながら、自分たちに何ができるのかと議論していました。谷川俊太郎の『子どもと子どもはせんそうしないけんかはするけどせんそうはしない せんそうするのはおとなとおとな』(絵本 せんそうしない)の一節を思いながら、「この子たちの純真な気持ちに答えるには」と自問するひとときでした。戦争もコロナ禍も自然災害も、瞬間に世界中を巡り巡って物価の高騰や失業・飢餓など私たちの日常生活やいのちを脅かす現代社会。そんな中、子ども食堂をはじめとして村のあちこちで地道に取り組まれている貧困、格差、差別を無くす取り組み。「半径5メートル内で起きている生活課題を解消しようとする小さな営みを、自助も共助も公助も混ざり合ってマクロの取組みにしていこう。コミュニティづくり。それこそ、飢餓や戦争を回避し安全・安心の平和な社会を創ることに繋がる」とはブレイディみかこ『THIS IS JAPAN』(新潮社)から教わったこと。『飛ぶ教室』で有名なE.ケストナーは、今から75年も前に、いつまで経っても戦争や貧困を無くせない人間たちに警告を発して、絵本『どうぶつ会議』を著わしました。「戦争や貧困どうしてなくなるのか?もう人間どもには任せておけない」と業を煮やした動物たちが、世界中から大集合して「どうぶつ会議」を開き、人間どもにその愚かさを気付かせます。合い言葉はただ一つ「子どものために!」。コロナ後の我がコミュニティの再構築も、まずは足元にある人権課題を「子どもとともに」ずくを出して変革していくことからかと思案するこの頃です。

# 祝！村の部 V2 達成！

## 長野県市町村対抗駅伝

4月29日(土)、やまびこドーム周辺にて、第32回長野県市町村対抗駅伝並びに第18回長野県市町村対抗小学生駅伝が開催されました。

市町村対抗駅伝で、山形村は昨年引き続き村の部で優勝しました！(総合タイム23・09/9区間41・2km)

総合成績では13位(46チーム中)と、昨年の14位(43チーム中)から順位を上げることも成功しました。

小学生  
駅伝は、  
25位(57  
チーム中)  
でした。  
(総合タイ  
ム17・54  
/4区間  
4・8km)

### 駅伝 にかける



小学生チームの皆さん



疾走!



子から父へつなげる襷



村の部優勝の賞状とトロフィーを手に

### 登録選手

#### 市町村対抗駅伝 (敬称略 地区・所属)

- 井上 莉乃 (下竹田：鉢盛中)
- 上條 悠太 (下竹田：鉢盛中)
- 丸山 直生 (上竹田：松本深志高)
- 菅沼 直紘 (上竹田：信州大)
- 藤間 治樹 (下竹田：松本深志高)
- 上條 佑依 (下竹田：松本県ヶ丘高)
- 塙 巖士郎 (上竹田：鉢盛中)
- 村上 裕雅 (下竹田：中京大)
- 村上 真也 (下竹田：癒しの森整骨院)
- 桐原 湊央 (下大池：鉢盛中)
- 鈴木 更沙 (上竹田：鉢盛中)
- 村上 明日香 (下竹田：癒しの森整骨院)

#### 市町村対抗小学生駅伝 (敬称略 全員6年生)

- 古畑 咲絵 (上竹田)
- 平林 怜 (小坂)
- 大月 牙恵 (下竹田)
- 平沢 僚汰 (下竹田)
- 井上 太佑 (下竹田)
- 佐々木 桃 (小坂)



小学生駅伝のアンカーを務めた平沢僚汰さんは、「やっぱり他のチームの人たちは速かったです。でも、見える範囲の相手は抜き去ることができたので、自分としては良い走りができたと嬉しいです」と話してくれました。

市町村対抗駅伝の山形村チーム主将で監督の村上真也さんのコメント

「チームが若くて、去年のメンバーが残っていたので今年も勝つことができました。実は鉢盛中学校のOBが多く共通する話題で繋がっているところがあります。絆がチームカラーです。昔から鉢盛中は強く、山小や村全体に、若い頃から走る風土があるのかもしれません。」

今日は風も強く、予想以上に気温も高くて厳しいコンディションでしたが、その中で一本の襷をつないで走りきれたことは、価値があると思います。良いチームですよ、本当に！」

8区を走った息子の裕雅さんから襷を受けて走り切った真也さん。その表情には、村の部でV2を達成したことだけでなく、素晴らしいチームを作り上げてきた誇りと喜びが溢れていました。

